

THÉÂTRE

« POUR QUE TU T'AIMES ENCORE »

あなたが貴方をふたたび愛すために

— トリニダード・ガルシアによるワンウーマンショー —

1月11日(土) 19:00~20:10

演劇『Et pendant ce temps, Simone veille・シモーヌ』の成功の後、脚本家であり女優であるトリニダードは、10歳で出会ったフランソワーズ・ドルレアック、50歳で出会ったブリジット・ラーエなどのロールモデルを再訪することにしました。溢れるユーモアと優しさでセクシュアリティを楽しむトリニダード。モデルとなった女性達を通して女性の強さと同時に、男性のもろさについて表現します。

アンスティチュ・フランセ関西一京都 稲畑ホール

当日:3500円、前売り:3000円、学生/クラブ・フランス会員:1500円
チケットぴあでも販売

対象:15歳以上 要予約 日本語字幕付(翻訳 リボアルなみの)

主催:日仏劇文化交流による女性の人権架け橋プロジェクト実行委員会

共催:アンスティチュ・フランセ関西一京都

ご予約・お問合せ:Tel 050-5326-2793

協力 MUZ ART PRODUCE

トリニダード・ガルシア 脚本家・俳優

脚本家として『Le Miroir』(2009)や『Et pendant ce temps Simone Veille・シモーヌ』など多くを手がけ、フランス・パリのコメディ・バステューク劇場で公演を行う。シモーヌ・ド・ボーヴォワール、ジゼル・アリミ、シモーヌ・ヴェイユの他、女性作家、アーティスト、活動家の声をユーモアを含ませ発信し、観衆に、温かく受け入れられている。 <https://www.trinidad-g.com>

リボアルなみのとのコラボレーションプロジェクトでは、多様なバックグラウンドを持つ女性と出会い、話を聞き、インタビューし、1950年代から2010年代のフランス社会を、女性視点で紹介する演劇『Et pendant ce temps Simone Veille・シモーヌ』の日本版制作を目指す。

チケットぴあにてチケット販売中

trinidad@namino.rivoal.net



日本・フランスの劇文化交流による女性の人権架け橋プロジェクトの進捗報告会

1月10日(金)2PMより開催！詳細はお問い合わせください。